

◆日本共産党は、大増税許さず、命と暮らしを守る政治実現に全力を尽くします

休日当番病・医院

8月6日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 苦小牧東部脳神経外科 北栄町 53-5000
- ◆歯科 三輪歯科医院 本町 32-3247

8月11日(金) <山の日>

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 こうよう泌尿器科クリニック 光洋町 82-8620
- ◆歯科 すずらんファミリー歯科 弥生町 74-1018

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。



し、現行の961円から1002円へ引き上げると答申しました。目安どおり改定した場合、実際に1000円を超えるのは8都府県にとどまり、地域間格差は221円に広がります。北海道の上げ幅は40円で、このまま反映されれば現在の920円から960円に上がります。今後、地方最賃審議会で目安に上積みする取り組みがはじまります。

目安を取りまとめた小委員会報告は、岸田政権が平均1000円達成を目標としていることと、現行の最賃が発効した昨年10月から消費者物価指数が前年同期比4・3%上昇していることを、目安額の根拠にしています。上げ幅は過去最大ですが、物価高騰の後追いのため生活は向上しません。

経済状況などから地域を今年から3区分に分けて提示された引き上げ額は、東京や大阪などAランクの6都府県は41円、北海道や静岡などBランクの28道府県は40円、大分や高知などCランクの13県は39円。目安通りに引き上げられると、最も高い東京は1113円、最も低い沖縄は1000円台の最賃の

「最賃上げればビールもうまい」「最低賃金1500円に上げろ」。音楽に合わせたコールが響き、沿道の市民がお一つと大きな声をあげました。

道労連は7月28日夕、広いピアガーデン会場の札幌市大通公園を「最賃あげろピアガーデンデモ」で練りあげました。

厚生労働省の中央最賃審議会が、1000円台の最賃の

7月23日付号の「6月市議会 電気料値上げ撤回」の記事で、「電気料は約7億9300万円」は「約7億9300万円」の誤りです。訂正します。

法律相談



8月25日(金)
高崎 裕子 弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

中央最低賃金審議会は7月28日、今年度の最賃改定の目安を地域ランクごとに41・39円増、全国加重平均で41円(4・3%)増とし、現行の961円から1002円へ引き上げると答申しました。

「最賃上げればビールもうまい」「最低賃金1500円に上げろ」。音楽に合わせたコールが響き、沿道の市民がお一つと大きな声をあげました。

道労連は7月28日夕、広いピアガーデン会場の札幌市大通公園を「最賃あげろピアガーデンデモ」で練りあげました。

厚生労働省の中央最賃審議会が、1000円台の最賃の

目安を示したこの日、北海道は40円増の時給960円と発表しました。

子どもを抱いた女性を含めて80人が「誰でもどこでも1500円」とプラスタを掲げ、ジョッキを運ぶ店員や客がこぶしをあげて共感を示しました。

気温29度。デモに先立つ集会で、札幌地区労連の岩崎唯副議長が「物価も電気代も上がり、暑い日が続いているのに、エアコンもなく我慢して体調を壊す人たちがいます」と切り出しました。「健康で文化的な最低限の生活を送るには賃上げが1000円では、まだまだ足りない」とアピールし「もういっしょ」と訴えました。

日本共産党の百年(タプロイド判) 日本共産党中央委員会(頒価280円) 共産党創立100年の到達点を踏まえ、党史の全体を振り返り叙述。開拓と苦闘の100年を浮き彫りにし、逆流を打ち破り新しい政治の道を拓く未来を展望します。

日本共産党 民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
苦小牧市議会ホームページ <http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

物価高騰の後追いでは生活改善ならない

最低賃金の目安答申

全国平均千円超も北海道960円

定した場合、実際に1000円を超えるのは8都府県にとどまり、地域間格差は221円に広がります。北海道の上げ幅は40円で、このまま反映されれば現在の920円から960円に上がります。今後、地方最賃審議会で目安に上積みする取り組みがはじまります。

最賃上げればビールもうまい
道労連がピアガーデンデモ 早く1500円



最賃引き上げを訴える畠山さん

目安を示したこの日、北海道は40円増の時給960円と発表しました。

子どもを抱いた女性を含めて80人が「誰でもどこでも1500円」とプラスタを掲げ、ジョッキを運ぶ店員や客がこぶしをあげて共感を示しました。

気温29度。デモに先立つ集会で、札幌地区労連の岩崎唯副議長が「物価も電気代も上がり、暑い日が続いているのに、エアコンもなく我慢して体調を壊す人たちがいます」と切り出しました。「健康で文化的な最低限の生活を送るには賃上げが1000円では、まだまだ足りない」とアピールし「もういっしょ」と訴えました。

マイナカード強制になる
健康保険証の
廃止 見直せ
日本共産党

で、大企業ばかりが内部留保を増やしているという理不尽な現実を変えましょう。賃金が増えれば消費も増えるし、経済への波及します。この点でも働く世代と結びつきあって、いっしょに政治を動かしたい」と語っています。

ほんの紹介

◆日本共産党の百年(タプロイド判) 日本共産党中央委員会(頒価280円) 共産党創立100年の到達点を踏まえ、党史の全体を振り返り叙述。開拓と苦闘の100年を浮き彫りにし、逆流を打ち破り新しい政治の道を拓く未来を展望します。



訂正

7月23日付号の「6月市議会 電気料値上げ撤回」の記事で、「電気料は約7億9300万円」は「約7億9300万円」の誤りです。訂正します。

若者の命奪うな！9条改憲NO

札幌で市民と野党の共同大宣言

畠山氏訴う

「STOP 9条改憲！ 国民主役の政治を！ 中央区実行委員会」(札幌市)は7月23日、ピアガーデンでにぎわう大通公園で、「市民と野党の共同大宣言」を繰り広げました。

さわやかな青空のもと、「いいね！ 野党共闘」や「戦争させない市民の風・北海道」、野党各党ののびりをはためかせ、「若者を戦場に送るな！ 自衛若者の命を奪うな！ 自衛

5年の安保法制から始まったと振り返り、「この国の主人公は岸田首相ではなく、市民一人ひとりの声が社会を動かす変えていく」と強調。人権を踏みしめることに多くの人が関心をもちてきており、各地で声が高まっているとして、「自民党政権のもとで押さえつけ一色の国にしたい」と訴えることにに対し、声をあげ、変えようとのうねりは広がってきている。市民と野党で力を合わせて、この政治を一緒に変えていきましょう」と呼びかけました。

自衛隊戦車の夜間公道走行中止を

道労連、釧路・苫小牧地区労連が知事要請

道労連、釧路・苫小牧地区労連は7月24日、北海道知事に対し、自衛隊装甲車両の夜間の公道走行の中止要請をしました。

要請内容は、道民の安心・安全な生活を保障するため、①苫小牧市および釧路市などの、深夜における陸上自衛隊の戦車装甲車の公道走行の騒音調査を行うこと ②深夜の公道走行は、道民生活に著しい影響があるため中止するように求めることの一の2点です。



沼ノ端の公道を走行する自衛隊戦車車両 (2021.9)

インボイス実施中止を 日本共産党

生業と暮らしを守るために

近年、自衛隊の装備強化および米軍との共同訓練強化にともない、訓練と称した自衛隊による実践さながらの軍事

行動が北海道各地で公然と行われていきます。まさに戦争する国づくりに向かっていると言え、危惧されます。

深夜の騒音は、安心・安全な生活を願う道民にとって非常に不快なものであり、睡眠に支障をきたすものとして、夜間の公道走行の中止を求めるよう要請しました。

道労連の三上友衛議長や釧路地区の山本隆幸事務局長、苫小牧地区の斎藤秀夫事務局長らが道庁を訪れ、訴えま

8.15 反戦平和集会

ウクライナ問題から日本の平和主義を考える

講師 川原 茂雄さん (参加無料)
◆札幌学院大学教授(憲法学)

●8月15日(火) 午後2時

●アイビープラザ 講習室 ※マスク着用を

主催：思想と信教の自由を守る苫小牧市民会議
丸 徹代表 Tel 32-4509

国かけある記 紙ともこです



国民の願いに応える
日本共産党

日本列島が猛暑に見舞われ35℃38度とモレツな暑さのなか、7月29日は大阪西成区の「未来を語るつどい」に、翌日は岩手県陸前高田市の日本共産党演説会に参加しました。

大阪の「つどい」では、渡部結さんと辰巳孝太郎さんがあいさつ。アンケートで出された疑問に答えるコーナーは40分。「どうしたら賃金や年金を引き上げることができるのか」「日本の安全保障、食の安全保障について」「大阪のカジノは止められるか」「ジェンダー平



大阪での演説会で共産党前進を訴える (29日)

震災から12年。犠牲となられた方や被災した市民、家族の思いを今も、政策に生かす共産党議員団の姿に感動します。帰りがけに、「共産党に自信が持てました」と声をかけられました。こうした場の大切さを実感しました。

紙智子(かみ・ともこ) 日本共産党参議院議員

「健康保険証廃止の中止を求め、マイナンバーカード取得の強制に反対します」署名にご協力を。